

主な過去災害事例集

昭和38年(1963年)、昭和56年(1981年)

38豪雪、56豪雪、記録的な積雪深

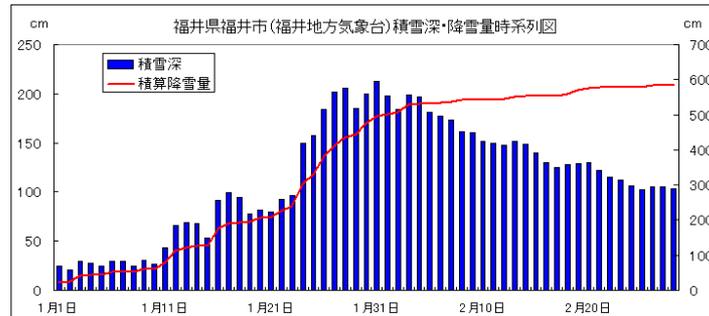
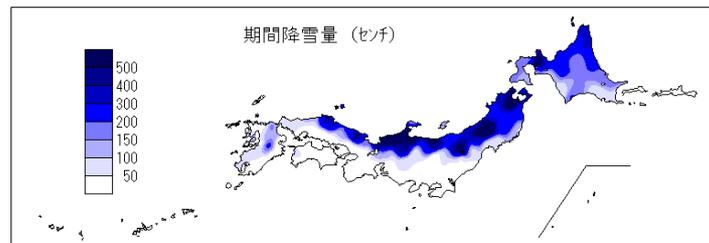
家屋や建物の倒壊、雪崩による人的被害

「昭和38年1月豪雪」

【気象概況】

昭和37年(1962年)12月末から昭和38年(1963年)2月初めまでの約1か月にわたり、北陸地方を中心に東北地方から九州にかけての広い範囲で降雪が持続しました。福井県では、嶺北を中心に連日、雪が降り続けました。

特に、1月中旬から2月初めにかけては、強い冬型の気圧配置が続いたため、降雪量が多くなりました。福井市では200センチを超える積雪となり、この期間の積算降雪量が500センチを超える大雪となりました。



【観測記録】

長期間の大雪で、最深積雪は福井で213センチ(1月31日)、大野で288センチ(2月4日)、敦賀で154センチ(2月1日)となり、観測開始以来の記録的な大雪となりました。



雪が2階の高さまで降り積もる
大野市越前大野写真館より引用

【被害の概要】

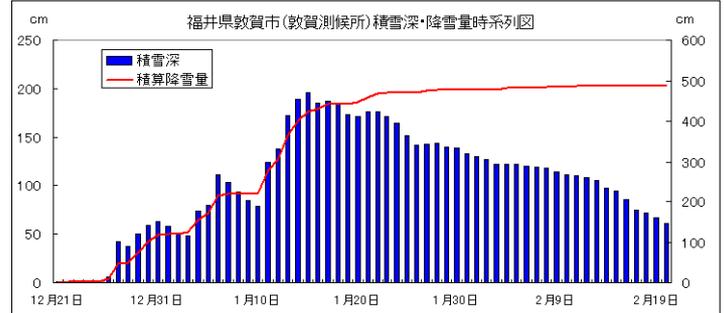
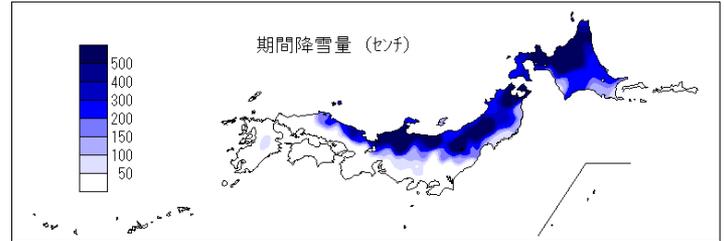
雪崩等による死者25人(主に勝山市、旧美山町、池田町)や住家被害(家屋全壊623棟、半壊69,653棟、床上浸水323棟、床下浸水2,665棟)があり、鉄道などは1週間程度不通となりました。

「昭和56年豪雪」

【気象概況】

昭和55年(1980年)12月27日から昭和56年(1981年)1月下旬にかけて、4日から5日、または1週間程度の大雪が3回にわたって繰り返し発生しました。特に12月27日と28日及び1月4日と5日は短時間に集中した強い降雪となり、10日から14日には日降雪量30～50cmの強い降雪が続きました。

これらの降雪で各地で記録的な積雪となり、敦賀市では「昭和38年1月豪雪」をこえる最深積雪となりました。



大野市自衛隊による除雪
大野市越前大野写真館より引用



【観測記録】

<各地の最深積雪>

福井 196センチ(1月15日)、敦賀 196センチ(1月15日)、
大野 262センチ(1月15日)、今庄 232センチ(1月15日)、
小浜 51センチ(1月22日)

<降雪の深さの合計>

福井 60センチ(12月29日)、敦賀 58センチ(1月11日)
大野 69センチ(12月28日)、今庄 66センチ(12月29日)、
小浜 31センチ(1月11日)

【昭和55年12月から昭和56年3月までの被害の概要】

死者15人や住家被害(家屋全壊37棟・半壊40棟、床上浸水72棟、床下浸水860棟)、交通障害、農業施設の倒壊、停電などの大きな被害が発生しました。